

地域とともにある学校をめざして

～小中連携から家庭・地域と連携した取組～

【宇部市 厚南中学校区】

地域の概要

厚南中学校区は、宇部市の西部に位置し、山陽小野田市と隣接しており、厚南小学校区と西宇部小学校区からなっています。校区内には宇部駅があり、宇部商業高等学校や宇部鴻城高等学校を有する住宅地です。

また、各小学校校区にある「ふれあいセンター」を活動拠点に地域住民のつながりが強く、学校の教育活動にも協力的です。

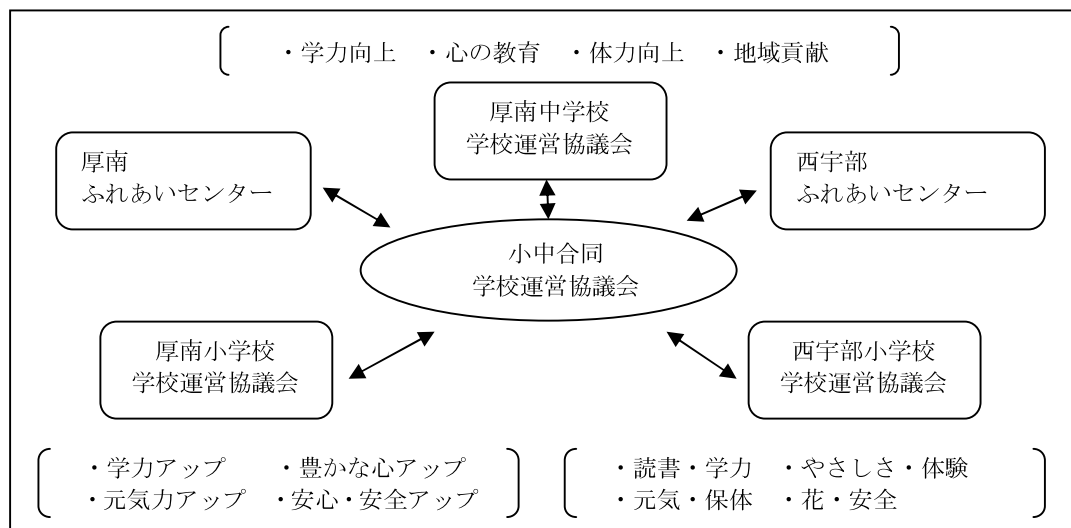
人口	18,074人	
世帯数	7,927世帯	
対象校及び 児童生徒数	厚南中学校	458人
	厚南小学校	557人
	西宇部小学校	335人

組織の内容

宇部市では、平成25年度から全小中学校がコミュニティ・スクールに指定されており、校区内の三つの小中学校にも学校運営協議会が設置されています。平成26年度に、小中学校の連携を推進するために、小中合同の学校運営協議会を開催し「地域を愛する子」、「ルールがわかり守れる子」、「気持ちの良い挨拶ができる子」など、めざす児童生徒像について協議しました。

今年度、学校・家庭・地域がよりつながり、具体的な取組にするため、各学校では学力向上【学力アップ、読書・学力】、心の教育【豊かな心アップ、やさしさ・体験】、体力向上【元気力アップ、元気・保体】、地域貢献【安心・安全、花・安全】の四部会に分かれて協議することを決定しました。

各学校の部会での協議内容が、小中合同学校運営協議会で検討され、内容によって小中学校で連携する方が効果的なことについては協働することにしました。



特色・重点的な取組

5年前から小中3校が合同で授業研究を行っており、教職員の連携は強い校区ですが、今年度から、3校で関連性のある部会を組織し取り組み始めたことで、保護者や地域を巻き込んだ小中連携のより具体的な実践につなげることができました。

また、中学校では、地域を愛する生徒を育てるためには、まず、地域の方々とふれあう機会づくりが大切であると考え、校区の祭への参画や年末年始の行事等への手伝いなど積極的に地域行事に参加しました。結果として、地域に貢献でき、地域から生徒の頑張りが評価されることとなりました。

主な活動の紹介

【小中合同の学校運営協議会】

8月に、各小中学校の学校運営協議会委員で、めざす児童生徒像に向け、四つの部会に分かれて熟議を行いました。

今年度の具体的な取組について協議し、地域貢献に向けたボランティア活動や合同でのあいさつ運動などが決定しました。

【厚南中学校区さわやかあいさつ day】

3校の小中学校が、地域へも参加を呼びかけ合同でのあいさつ運動を行いました。保護者や地域の方々、さらには、児童生徒の参加もあり、一日のスタートがさわやかに始められました。

今後は、定期的に、学校・家庭・地域で連携したあいさつ運動として展開していきたいと考えています。

【小中で連携した学力向上の取組】

小学校の夏休み中の補習授業に中学生が参加し、学習支援を行いました。また、中学校の補習授業には、2校の小学校から大勢の先生が参加し、学習指導を行いました。小学生の児童からは、「勉強がよくわかった。」と好評であり、今後は地域の方々にも支援者として参加いただくことを検討しています。

【中学生による校外ボランティア活動】

地域貢献を図るため、以下のような校外での様々なボランティア活動に参加しました。

- ・地域の正月行事への参加
- ・地域の祭への参画
- ・放課後子ども教室への支援
- ・正月のしめ縄作りの手伝い
- ・地域の川の清掃活動
- ・小学校PTA行事の手伝い
- ・独居老人へのお餅の袋詰め作業



成果と課題

各学校では、四部会による学校・家庭・地域の連携を図るための具体的な熟議が行われており、全教職員が参加しての会議も始まり、教職員の意識が変わり始めている点の一つの成果だと考えています。また、小中合同での学校運営協議会を通して、地域で児童生徒を育てるといった雰囲気が生まれています。今後は、これらの取組が継続した活動になるよう、改善を図ることが必要であり、日々の学校生活の中で地域の力を生かした取組につなげていくことが課題であると考えています。

今後の取組

上記の成果と課題を受け、更に小中学校の学校間のつながりを強め、学校・家庭・地域の連携を図るために、今年度、重点的に行ってきたことをしっかり振り返り、来年度への取組にしていくことが大切になります。そして、そのためには、来年度に向け、子どもを取り巻く学校・家庭・地域の大人が、子どもたちのために、何ができるかを話し合える機会を大切にしていきたいと考えています。